

たきた敏幸県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

北総線の運賃値下げ問題

2月16日に森田健作新知事と北総線を視察!

支北総鉄道へ県道債務超過解消へ出資も検討

無利子融資を出資金へ切り替えることについて、県は「効果、内容を検討したい」と踏み込んだ答弁を行いました。また、滝田県議は、3月の知事選の立候補者を巡り、いすみ鉄道の経営問題を追及し、堂本知事と正面から対決しました。その他の質疑と合わせ、1、2面で特集します。

印西市選出で、一期目ながら若手の政策通として頭角を現している滝田敏幸(たきた・としゆき)県議は、当選以来、早くも6度目の本会議場での質問戦に登壇し、自らの政策課題に掲げている北総鉄道の高運賃是正問題などで持論を展開しました。この中で、北総鉄道の経営改善のため、県などからの



新知事に就任した森田健作氏と、2月16日に北総線と成田新高速鉄道を視察しました

滝田議員 二〇一〇年成田新高速鉄道開業と北総鉄道の高運賃是正問題について、私は本会議場で六度取り上げ、県政の大きな課題になったと言っても過言ではありません。

そこで、成田、羽田両空港間のアクセス改善を目指す国の平成二十一年度調査はどのようなものか。また、県はどう対応するか。

総合企画部長 国の新年度予算に盛り込まれた「成田・羽田アクセス改善調査」は、両空港の一体的活用を推進し、首都圏の国際競争力の維持強化を図ることを目的としています。

印西市特集 2月県議会一般質問

その内容は、平成二十二年

度完成予定の成田新高速鉄道を既存ストックとして活用し、一つには成田・羽田両空港間のアクセス五十分台の実現をはかり、二つには都心と両空港へのアクセス三十分台の実現を目指すこととしています。

今回の国の調査も、千葉県東京都、鉄道事業者等からなるアクセス改善のワーキンググループで検討を行うとされていることから、国や東京都など関係者と連携を密にして、対応していきたいと考えています。

京成電鉄も応分の負担を

滝田議員 北総鉄道の線路使用料について、京成電鉄が適切な負担をするよう、県は国へ強く申し入れるべきと思うが、どうか。総合企画部長 北総線の運賃問題に係る県の部長と副市長クラスとの会議で、今後、北総鉄道の経営状況の将来推計が提出された後、課長会議でその説明を受け、運賃値下げに係る支援策を練り上げていくことにしたところです。

今後はこの会議の中で、国などへのタイミングで、どんな活動をしていったらより効果的かなど検討していきたいと考えています。滝田議員

たきた敏幸・公式HP
ブログ・毎日更新中!
<http://www.takinowa.com>
滝田敏幸 検索

たきた敏幸・PROFILE

略歴

- 昭和35年2月 印西市(現印西市)大森生まれ
- 大森小、印西中、我孫子高校卒業
- 同志社大学卒業
- 滝田洋品店取締役
- 印西市議初当選(2期)
- 県議初当選

現職

- 県議会 商工労働企業常任委員会委員
- 千葉県環境審議会委員
- 自民党県連 広報委員会(青年局)
- 印西市消防団副団長
- 印西市商工会理事
- 印西市観光協会理事
- 千葉県ラグビー協会理事
- 自民党印西支部幹事長

県政から築く、印西市の元気な明日

千葉県・印西市についてのご意見、ご要望をお聞かせください。

たきた敏幸 事務所
〒270-1326 印西市木下1521-125 2F
TEL.0476(37)4173

病院新設分 市内へ250床を配分

いすみ鉄道で、堂本知事と対決



本会議場でこれまでの議員活動を振り返って質問する滝田敏幸県議

滝田議員 いすみ鉄道前社長の知事選への出馬をめぐり、再建に向けてスタートを切ったばかりのいすみ鉄道の経営と事業運営に対して懸念する声が、地元県民を中心に広がっていると報道されているが、知事はどう考えるのか。

2月県議会 一般質問

堂本知事 前社長は、昨年四月一日に社長に就任し、新たな企画列車の運行をはじめ、いすみ鉄道のサポートや花壇オーナーの募集など、増収策に取り組んでいたと聞いています。今後ともいすみ鉄道の再生に向けて、これまでの増収策や利用者へのサービス向上への取り組みが途切れることのないよう、地元市町と協力してまいります。

滝田議員 新聞記事によれば、前社長が「知事として存続を決めれば、中長期的に経営改善に取り掛かる」と発言しているが、千葉県知事が、いすみ鉄道の存続を政治的判断で決定することができるのか。

堂本知事 いすみ鉄道の存続か廃止かの問題は、地元首長と県総合企画部長をメンバーとする「再生会議」を設置し、二年に及ぶ協議の結果、全員の合意により二年間の検証期間を設け、いすみ鉄道の再生に取り組むこととしたものです。

今後とも、県と地元二市二町が力を合わせて、再生に取り組んでいきたいと考えております。

滝田議員 県内経済人からいすみ鉄道前社長への立候補の要請文の作成に当たって、知事が関与したとの話があるが、これは事実か。

堂本知事 立候補の要請については、県内経済人の方々が自らご判断されたものと認識しています。

滝田議員 新聞記事によると、いすみ鉄道の前社長は一月十五日に知事公舎で堂本知事に会い、知事から出馬要請を受け、「やらせてください」と即答したとありましたが、それは事実か。

堂本知事 今年に入ってから、数回にわたっていろいろなところでお目にかかり、打診した事実はあります。二月五日には、知事執務室において、正式に出馬を要請させていただきました。

滝田議員 事業者である千葉県と都市再生機構に、地元市町並びに議会も参加した意見交換ができる場、すなわち協議会を新たに立ち上げるべきかと思っておりますか。

企業庁長 千葉ニュータウン事業 業については、これまでも地元市町と協議・調整を行いながら事業推進に努めてまいりました。

今後、地元市町の理解と協力を得ながら、事業を

「新たな協議会」設置を提案 千葉ニュータウン事業

滝田議員 現在、病院が一つもない印西市に病院が必要だと思いが、今回の病床配分では、印旛保健医療圏への配分はどうか。

健康福祉部長 昨年四月に策定した千葉県保健医療計画で、病床が不足している印旛保健医療圏内、病床の整備を希望する事業者を募集したところ、病院の新規開設計画が三事業者から、既存病院での増床計画が三事業者から提出されました。

そこで、個々の計画について、(1)現保健医療計画期間である平成二十二年度までに整備または確実な着工が見込まれるかどうか(2)地域の中核となる医療施設の新設や救急救命医療、周産期医療など保健医療計画の整備方策との整合性が図られているかどうかなど、医療審議会病院部会に諮り、審議しました。

その結果、印旛保健医療圏内で、印西市内の病院新設計画に二百五十床を配分したほか、佐倉市内及び四街道市内に所在する三病院の増床計画に百三床、合わせて三百五十三床を配分したところです。

印旛医療圏内への病床配分



谷垣禎一・前国土交通大臣を訪ね要望する滝田県議

地元の
地域の
ため
のため
信念
を持って

たきた敏幸県議